

社会システム研究

第 16 号

2013年3月

〔論 説〕

- 言語起源論史における〈人間〉と〈動物〉…………… 鶴 飼 大 介 …… 1
- エドモンド・バーク『自然社会の擁護』のパロディー性について …… 末 富 浩 …… 13
- 主権の実在性について
- カール・シュミット『政治神学』の権力論的読解 — …… 宋 偉 男 …… 27
- イデオロギー終焉論の思想史的考察 …… 早 瀬 善 彦 …… 43
- ソ連外交文書より見た「張学良の対ソ接近外交」
- 西安事変の背景への新たな視座 — …… 伊 丹 明 彦 …… 63
- 人間の愚かさについて …… 銭 廣 承 平 …… 83
- アメリカ児童文学にみる多文化主義
- ヴァージニア・ハミルトンの作品を中心に — …… 末 木 淳 子 …… 97
- 1950年代カリフォルニア州におけるメキシコ人非合法移民支援団体の設立過程
- 支援団体エルマンダー・メヒカーナ・ナショナルを例に — …… 徳 永 悠 …… 111
- エルサレム世界宣教会議と植民地主義 …… 役 重 善 洋 …… 125
- 19世紀末の観光ガイドブック『マレー』における日本の言説 …… ダニエル ミルン …… 135
- 京都大学キャンパス内歴史的建造物に関する研究
- 学生集会所を事例に — …… 河 野 康 治 …… 153
- 「終焉」後のボランティア
- 東日本大震災における被災写真救済活動を事例として — …… 溝 口 佑 爾 …… 163
- 孤独死の言説からみる死の自己決定の変容
- 新聞の投書記事の分析 — …… 中 森 弘 樹 …… 181
- 電子メディアコミュニケーションにおける間主観性 …… 鈴 木 有 希 子 …… 195

〔翻 訳〕

- ニクラス・ルーマン 形式としての記号 …… 高 橋 顕 也 訳 …… 207
- 蘇国勲 マックス・ヴェーバーについての中国の状況に基づく再検討 …… 羅 太 順 訳 …… 227

〔社会システム研究刊行会構成員〕

| | |
|---------------|------------------------------------|
| 江田 憲 治 | 京都大学大学院人間・環境学研究科教授（文明構造論分野） 本号編集担当 |
| 大川 勇 | 京都大学大学院人間・環境学研究科教授（文明構造論分野） |
| 佐伯 啓 思 | 京都大学大学院人間・環境学研究科教授（現代社会論分野） |
| 大黒 弘 慈 | 京都大学大学院人間・環境学研究科准教授（現代社会論分野） |
| 鵜飼 大 介 | 京都大学大学院人間・環境学研究科助教（現代社会論分野） |
| ハヤシ ブライアン マサル | 京都大学大学院人間・環境学研究科教授（国際社会論分野） |
| 前川 玲 子 | 京都大学大学院人間・環境学研究科教授（国際社会論分野） |
| 見平 典 | 京都大学大学院人間・環境学研究科准教授（国際社会論分野） |
| 浅野 耕 太 | 京都大学大学院人間・環境学研究科教授（共生社会環境論分野） |
| 間宮 陽 介 | 京都大学大学院人間・環境学研究科教授（共生社会環境論分野） |
| 高橋 由 典 | 京都大学大学院人間・環境学研究科教授（社会行動論分野） |
| 吉田 純 | 京都大学大学院人間・環境学研究科教授（社会行動論分野） |

〔執筆者紹介〕

| | |
|--------------|----------------------------|
| 鵜飼 大介 | 京都大学大学院人間・環境学研究科助教 |
| 末 富 浩 | 京都大学大学院人間・環境学研究科研究員 |
| 宋 偉 男 | 京都大学大学院人間・環境学研究科博士後期課程 1 年 |
| 早 瀬 善彦 | 京都大学大学院人間・環境学研究科博士後期課程 3 年 |
| 伊 丹 明彦 | 京都大学大学院人間・環境学研究科博士後期課程 1 年 |
| 錢 廣 承平 | 京都大学大学院人間・環境学研究科博士後期課程 3 年 |
| 末 木 淳子 | 京都大学大学院人間・環境学研究科博士後期課程 1 年 |
| 徳 永 悠 | 京都大学大学院人間・環境学研究科博士後期課程 1 年 |
| 役 重 善洋 | 京都大学大学院人間・環境学研究科博士後期課程 3 年 |
| Daniel Milne | 京都大学大学院人間・環境学研究科博士後期課程 1 年 |
| 河 野 康治 | 京都大学大学院人間・環境学研究科博士後期課程 3 年 |
| 溝 口 佑爾 | 京都大学大学院人間・環境学研究科博士後期課程 3 年 |
| 中 森 弘樹 | 京都大学大学院人間・環境学研究科博士後期課程 3 年 |
| 鈴 木 有希子 | 京都大学大学院人間・環境学研究科博士後期課程 3 年 |
| 高 橋 顕也 | 京都大学大学院人間・環境学研究科博士後期課程 3 年 |
| 羅 太 順 | 京都大学大学院人間・環境学研究科博士後期課程 1 年 |

社会システム研究 第 16 号

2013 年 3 月 15 日発行

編集・発行者 京都大学大学院人間・環境学研究科

社会システム研究刊行会

〒606-8501 京都市左京区吉田二本松町
京都大学大学院人間・環境学研究科内

印刷所 (株)北斗プリント社 〒606-8540 京都市左京区下鴨高木町 38-2
TEL (075) 791-6125 FAX (075) 791-7290

SOCIALSYSTEMS

: political, legal and economic studies

NUMBER 16

MARCH 2013

ARTICLES

- Articulation between Man and Animal in the History of the Origin of Language
 UKAI Daisuke
- Why and How is Edmund Burke's "*A Vindication of Natural Society*"
 a Parody? SUETOMI Hiroshi
- On the Reality of Sovereignty
 : Carl Schmitt's *Political Theology* as a Power Theory SONG Weinan (SO Uinan)
- A Study in the Theories on the End of Ideology
 : From the Point of View of the History of Ideas HAYASE Yoshihiko
- Zhang Xueliang's Approach And Diplomacy Toward the Soviet Union as seen
 from Documents on Soviet Foreign Policy
 : New Perspective toward the Background of the Xi'an Incident ITAMI Akihiko
- On Human Stupidity ZENIHIRO Shohei
- Multiculturalism in American Children's Fiction
 : Focusing on the Works of Virginia Hamilton SUEKI Junko
- Formative Process of Support Organizations for Undocumented Mexican
 Immigrants in California
 : *Hermanidad Mexicana Nacional, 1945-1954* TOKUNAGA Yu
- The Jerusalem Meeting of the International Missionary Council
 and Colonialism YAKUSHIGE Yoshihiro
- Discourses on Japan at the End of the Nineteenth Century in *Murray* Guidebooks ... Daniel MILNE
- The Study of Historical Building at Kyoto University Campus
 : Case Study of the Student Meeting Place "Gakusei-shukai-jo" KAWANO Koji
- A Volunteering Activity after the "End of the Volunteering"
 : A Case Study of Relief Activities of Private Photos Flooded on 3.11 MIZOGUCHI Yuji
- How Do the Discourses of Solitude Death Tell the Transformation of
 Self-Determination on Death?
 : Analyzing the Letters to the Newspapers NAKAMORI Hiroki
- Intersubjectivity in the Digital Media Communication SUZUKI Yukiko

TRANSLATION

- Niklas LUHMANN, Zeichen als Form übersetzt von TAKAHASHI Akinari
- SU Guoxun, Überlegungen über Max Weber an der chinesischer Situation
 übersetzt von LUO Taishun